

～ 「男女共同参画」の高鍋づくりに取り組みませんか ～

現在の日本の状況

- 1人当たりのGDPの推移を見ると、G7等各国はここ約20年間で確実な経済成長を続けている
その一方で、日本は20年以上横ばいとなっている
- 日本の相対的貧困率は15.4%（6人に1人が貧困） 世界の貧困率は10.0%
- 2020年の出生数は過去最低を更新、合計特殊出生率も1.33と低調
- 65歳以上人口を15歳～64歳人口で支える割合 2020年…2.1人 → 2060年…1.4人
- 宮崎県では26市町村のうち15が消滅可能性都市、高鍋町は49.2%で16番目
※消滅可能性都市…20～39歳の女性の人口が50%以上減少することが指標

あなたの未来は不安ではないですか？
あなたの子や孫の生活はどうでしょうか？

どうすればいいか

- G7各国はジェンダー政策の推進により約20年間経済成長を続けている
- 「ジェンダー平等」はSDGs（持続的な開発目標）の1つのゴールであるだけでなく、SDGs全体の目的であり、17のゴールをすべて実現する手段でもある
- 女性労働力が高い国ほど出生率が高い
- 男女共同参画を推進することで多様な視点、アイデア、発想が生まれる
それにより、組織や企業、家庭、地域の活動が活性化、経済社会の活力が向上する

個人の幸福と持続可能な社会のカギを握るのが
「男女共同参画」です。

しかし、今の現状は

- 日本の男女平等度は146か国中125位と低く、特に経済・政治分野では深刻
- 国会議員の女性割合は国会では15.4%（110名/713名）、高鍋町議会では14.3%（2名/14名）

「男女共同参画」を推進するため
みんなで考えてみませんか？



- ◆：QRコードを読み込むと、高鍋町ホームページ内の男女共同参画のページに移動できます。「男女共同参画関係資料」の項目に講演「ジェンダー平等が社会を救う」の資料などを掲載しておりますので、ご覧ください。
- ◆：本年12月10日(日)に「ジェンダー平等が社会を救う講演会inたかなべ」を開催します。ぜひご参加ください。